

## ウランバートル市における障害者の社会参加促進プロジェクト (DPUB)

ニュースレター第12号 (2018年4月)

### NGOの仕事

NGOへの応募は幸運にも書類審査はパス、面接へと進みました。5人を面接して1人を選ぶと言われ、ちょっと厳しいと思ったのですが、開発学としてダムやインフラ作りの影響を学んだこと、現場を学びたいこと、自分の希望や学歴、職務経験を上手く伝えることができたのか、運良く採用されました。退職して3年、初めて給与を貰えるようになりました。安くても嬉しかったですね。1999年1月、31歳の時でした。カンボジアに行くのは初めてでした。まさに発展途上という感じで首都プノンペンでも酷い土埃があり、東南アジアの灼熱の太陽と人混みと熱気を感じました。カンボジアはアンコールワットという寺院が有名ですが、首都からは遠く、当時はトンレサップ川を船で上って5～6時間と言われました。さてNGOの仕事ですが、なんでも、日本政府が1970年代に着工したダムが内戦のため中止になり、そのまま放置されているものを再開発するという話が上がったそうです。ただ70年代のダム建設だと環境配慮がされておらず、再開発の場合、環境調査を実施しなければならないが、政府の環境調査は信用できないので、NGOとして調査して提言したい。その調査を担当して欲しいということでした。ほほ～、これはなかなか責任重大だ。ちょっと怖くなりました。(つづく)



DPUBチーフアドバイザー千葉寿夫

### DETファシリテーター養成講座だより (2018.04.09-2018.04.25)

#### ～新ファシリテーター誕生！～

11日間の研修もいよいよ最後のプログラム、障害平等研修 (DET) ファシリテーター養成講座は修了式を迎えました。労働社会保障省、JICA モンゴル事務所からも続々と来賓が登場。少し緊張した雰囲気にも包まれました。一人ずつ名前を呼ばれて修了証書を受け取り、記念撮影。ようやくほっとした表情に変わりました。参加者代表のネメフバヤルさんは「これからファシリテーターとして出発。誰もが住みやすい社会を目指して活動します。」と手話でスピーチ。今後の活躍を誓いました。色とりどりのデールと輝く笑顔で華やいだ研修会場でした。



修了証書を受け取り、皆で記念撮影

#### ～シニアファシリテーターも誕生！～

今回の障害平等研修 (DET) ファシリテーター養成講座では、後輩ファシリテーターにアドバイスできるシニアも育成しました。一般のファシリテーターよりも長い13日間の研修。各講義や演習が効果的に行われたかを分析すること、それから参加しているファシリテーターの理解度を確認することが主な内容でした。すべてのプログラムを終えて、指導者の久野先生から修了証書を受け取ったシニアファシリテーター達。「これから後輩達とともに効果的なDETができるよう、頑張ります！」と意を新たにしていました。1期生、2期生合わせて32名のファシリテーターとその中からリーダーとして選ばれたシニア6名の今後の活躍に期待します。



シニアファシリテーター6名



JICA DPUBのFACEBOOKページに「いいね」をお願いします。

お陰様で、今ではページのいいねが1944件に達成し、より多くの方に情報を発信できるようになりました。これからも、楽しんでいただけるような投稿を目指して頑張ります。引き続き、宜しくお願い致します。

### ～ランチタイムも快適に～



車椅子でも安心して利用できる環境

毎日、早朝から夕方までびっしり研修。時には宿題もあります。そんな参加者達の楽しみはランチタイム。研修会場のレストランには工夫がされていました。それは、ビュッフェの料理を載せるテーブルの高さ。通常のテーブルよりも少しだけ低くしてあり、車椅子を使う人が、料理を自分でお皿に入れることができるようになりました。「人に頼まなくても、自分の目で見て取ることができる！」。高すぎず、低すぎず・ちょっとした工夫で、皆が使いやすくなりました。

### ～参加する前と今の私～

すべての講義や演習を終わって、全員で一つの輪になって話し合いました。テーマは「障害平等研修 (DET) ファシリテーター養成講座に参加する前と後で何が変わった?」。「今まで自分の障害のことしか考えていなかったが、機能障害に関係なく、多様なコンディションの人たちが参加できる社会を作りたいと思うようになった。」「社会が変わるまで待つしかないと思っていたが、養成講座に参加して、自分が変わると思うようになった。」「将来、障害のある人たちのために役に立つ活動がしたいと思っていた。DETファシリテーターは私の夢。」DETは障害のある人、ない人、子供から大人まで、すべての人々を対象にした研修です。企業、行政、学校・まだ実施していない団体は、ぜひ DETフォーラム・モンゴル ([detforummongolia@gmail.com](mailto:detforummongolia@gmail.com)) へご連絡を!



養成講座最後の話し合い

養成講座最後の話し合い

### ～トレーナーも誕生～

今回の障害平等研修 (DET) ファシリテーター養成講座にはもう一つのイベントがありました。それは、「トレーナー研修」。今までシニアファシリテーターだった、プロジェクトの照屋専門家がファシリテーターを育成するトレーナーになるというプログラム。世界で6人目のトレーナーになりました。日本のJICA本部から来た久野先生の指導の下、11日間の講義や演習をすべて担当。「講義中、久野監督が私の背後にやって来て、照屋さん、そこは・・・として下さい。と助言を受ける度にヒヤリ。背筋が凍る日々でしたが、フルマラソンを久野監督の伴走のおかげで完走できたような気持ちです」。久野先生はじめプロジェクトの皆さん、介助者の方々・多くの協力者に支えられて無事にすべてのプログラムを終えることができました。本当にありがとうございました!!



照屋専門家に感謝の気持ちを伝えるファシリテーター

### ～DET、一期生も新たな学び～

4月26日、障害平等研修 (DET) の第一期生ファシリテーター対象のフォローアップ研修を行いました。一期生とは、2016年12月にファシリテーターとなった人達。この16名で今までに150回以上のDETを実施してきました。今回は、日本のJICA本部から来た久野先生と約1年半ぶりに再会。演習の進め方や効果的なファシリテーションを改めて学びました。「迷っていたファシリテーションの方法がクリアになった」や「今日来ないと損!!」と皆満足した様子。一層パワーアップした一期生達でした。



研修の様子

**Office:** Government Building – 2, United Nation’s Street – 5, Ministry of Labor and Social Protection Ulaanbaatar – 15160, Mongolia

**Facebook:** <https://www.facebook.com/jicadpub>

**Website:** <https://www.jica.go.jp/project/mongolia/015/index.html>

**E-mail:** [dpub.jica@gmail.com](mailto:dpub.jica@gmail.com)